

肝・胆・膵

胆道疾患①

溶血性黄疸

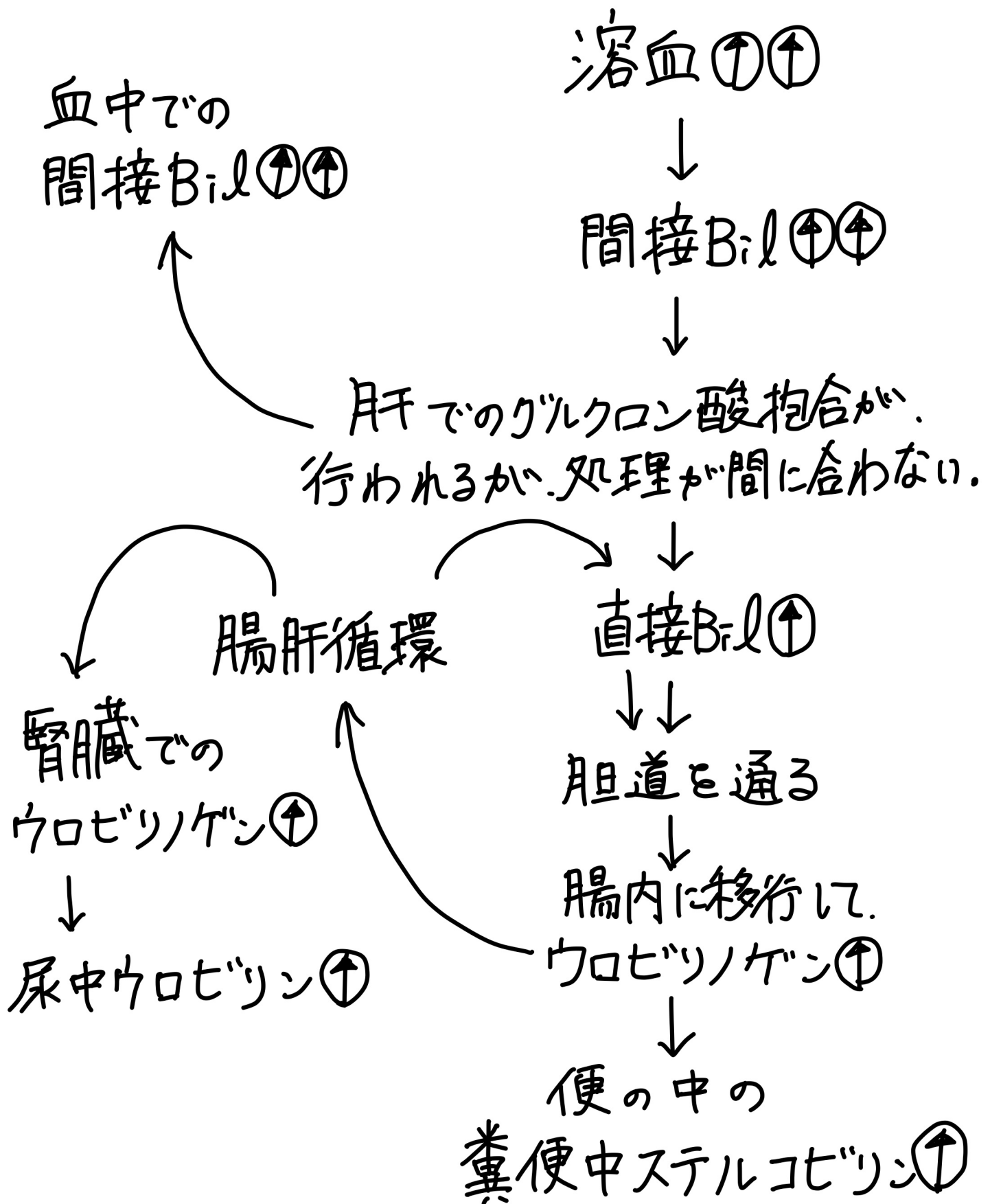
肝細胞性黄疸

閉塞性黄疸

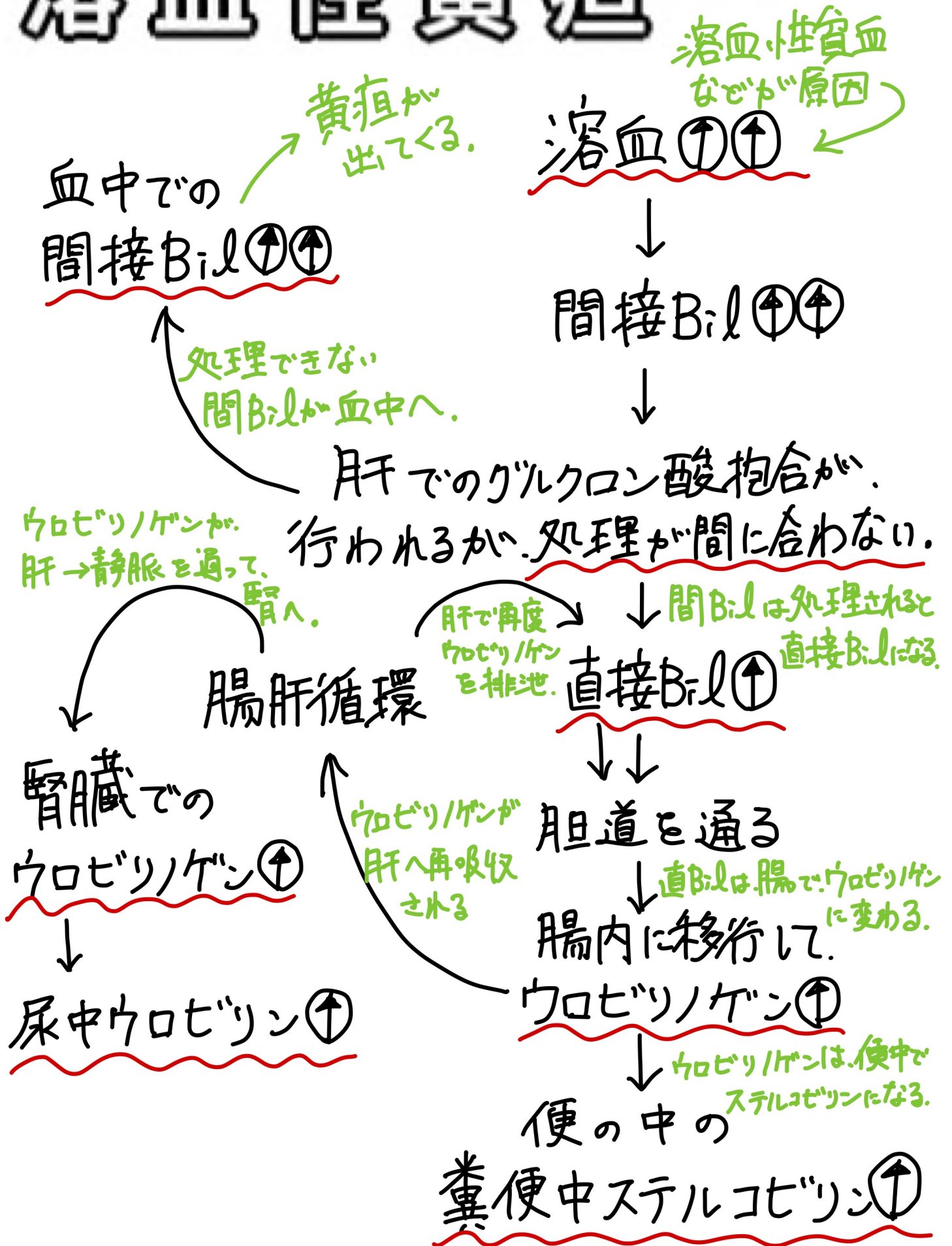
体質性黄疸



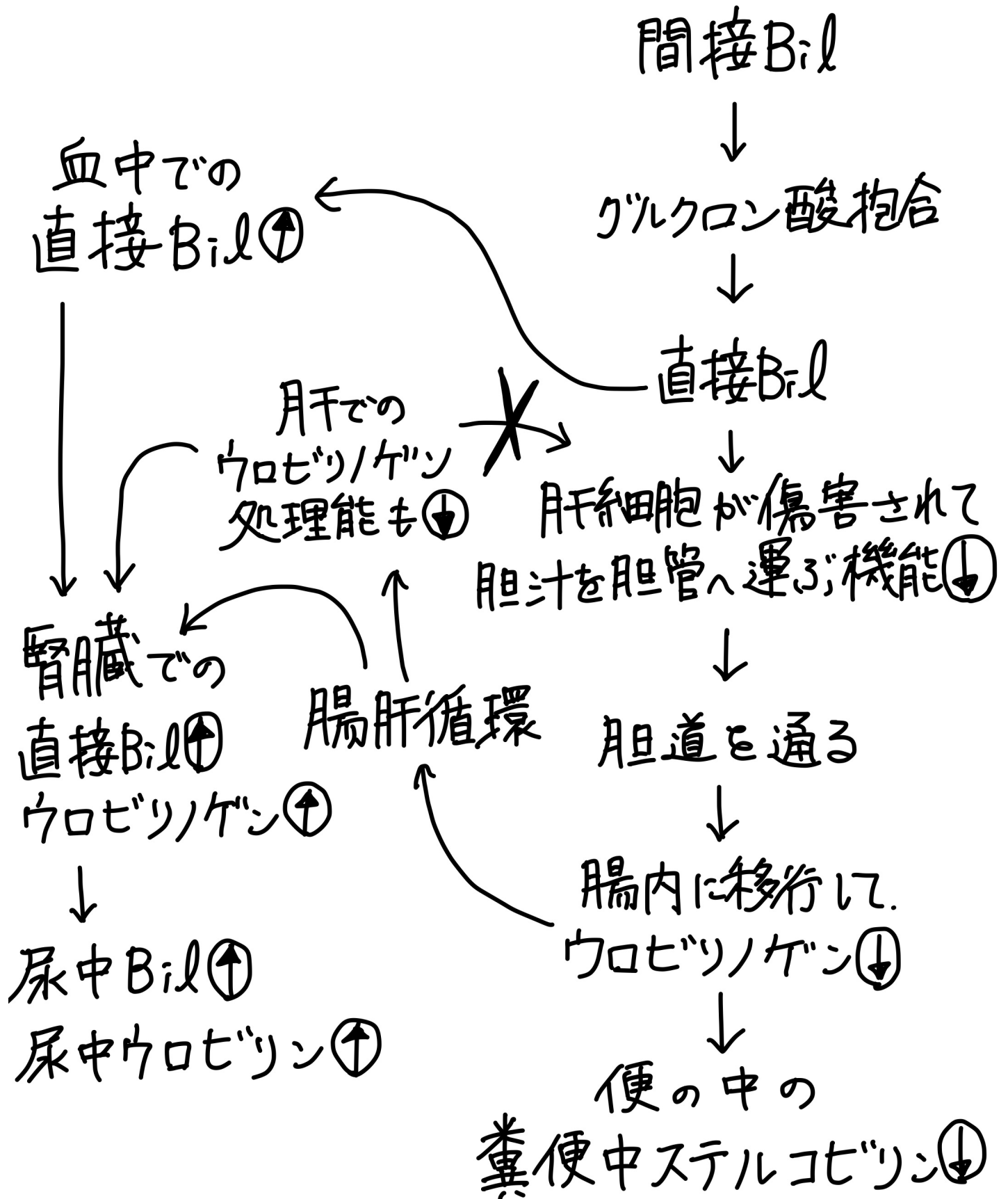
溶血性黄疸



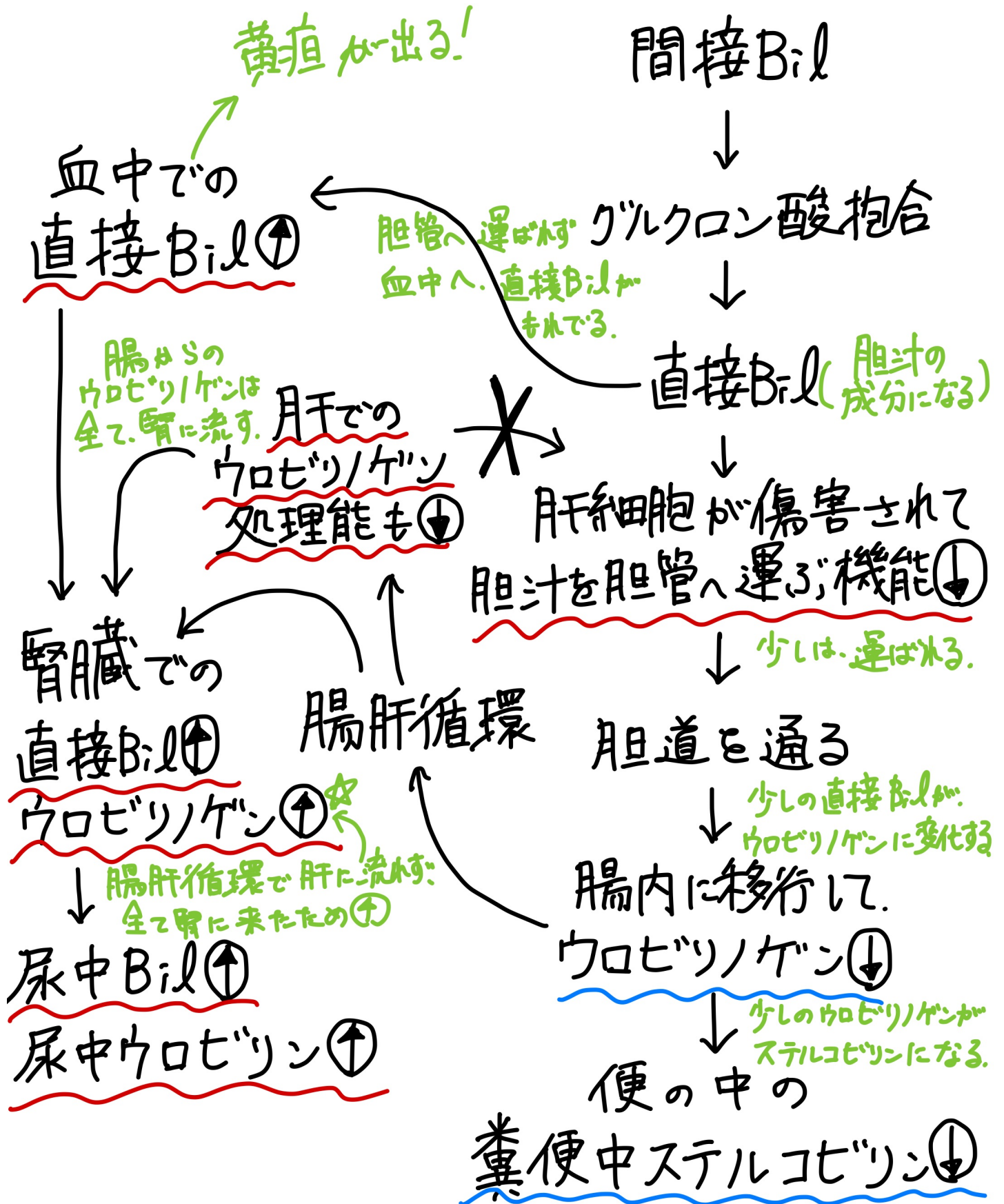
溶血性黄疸



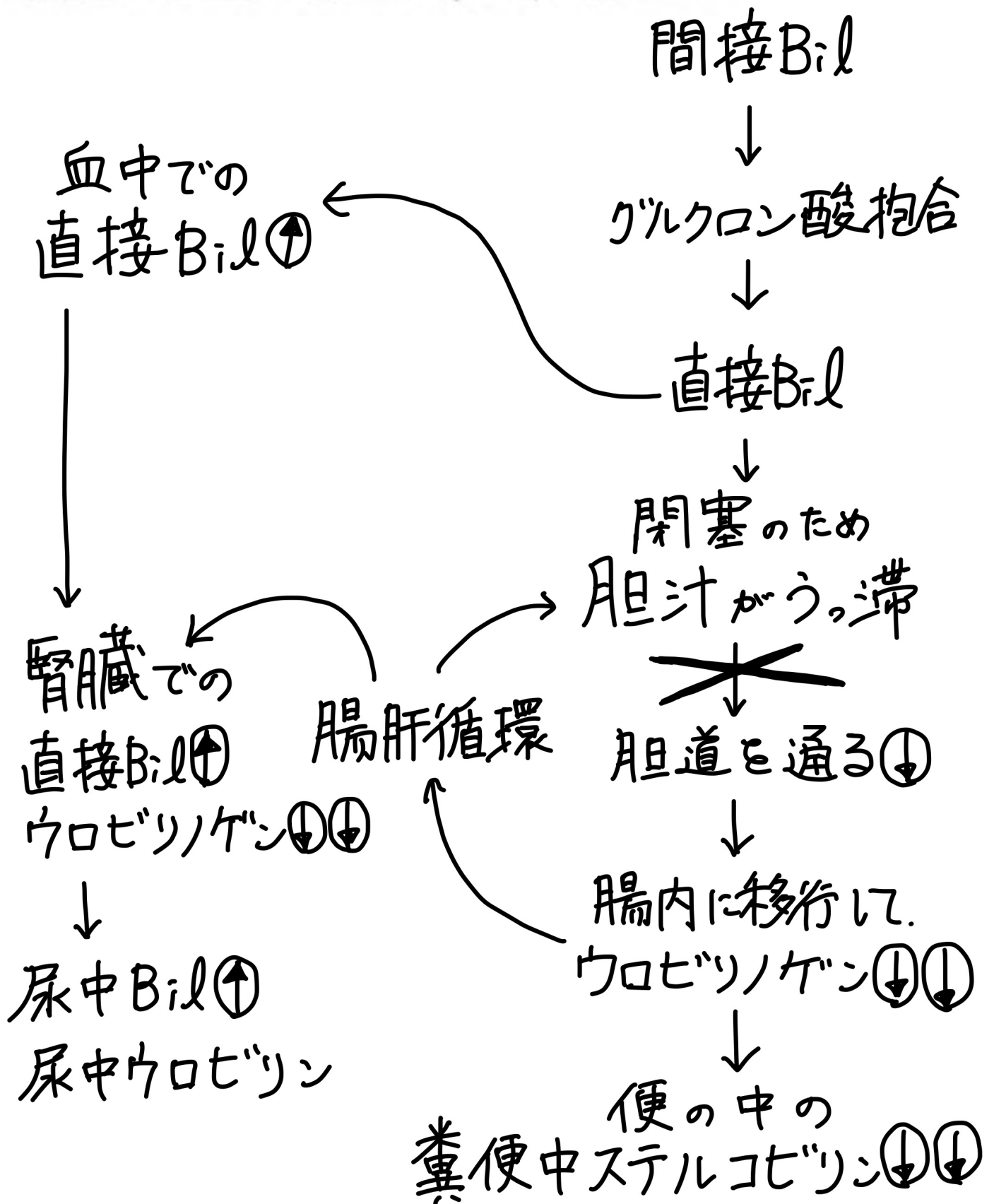
肝細胞性黄疸



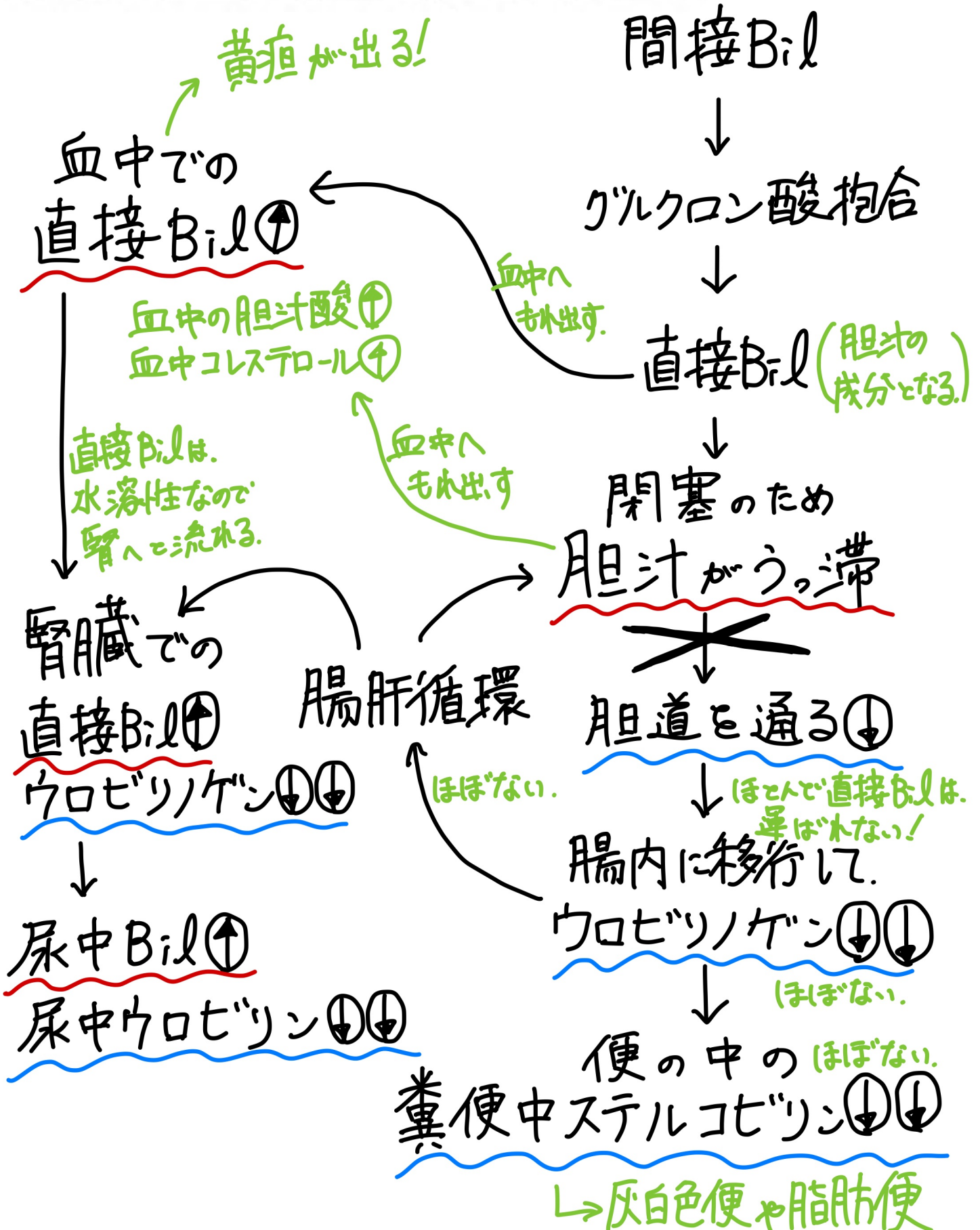
肝細胞性黄疸



閉塞性黄疸

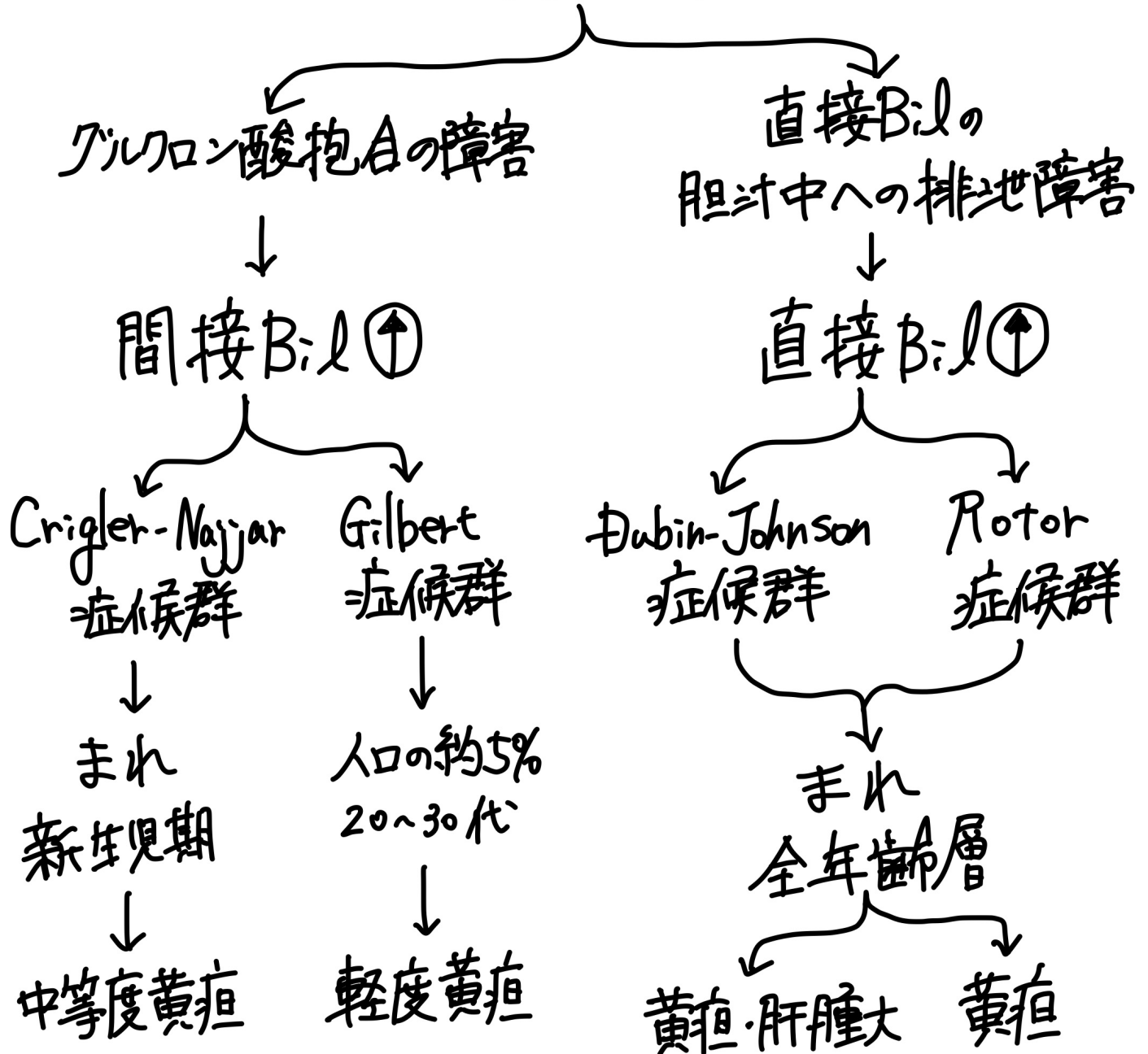


閉塞性黄疸



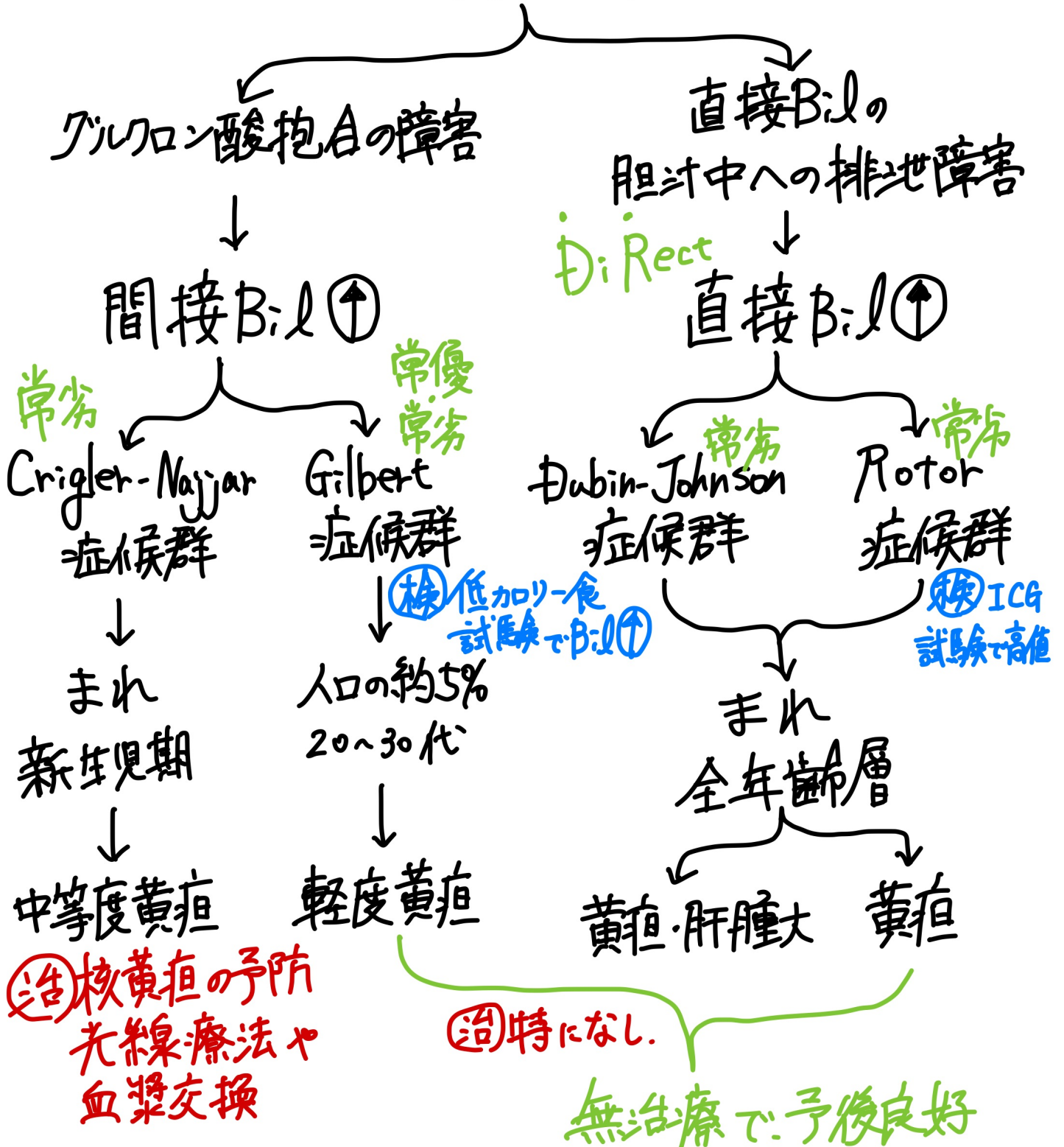
体質性黄疸

先天的な肝臓のビリルビン代謝異常によって起こる黄疸



体質性黄疸

先天的な肝臓のビリルビン代謝異常によって起こる黄疸



肝・胆・膵

胆道疾患②

胆石症

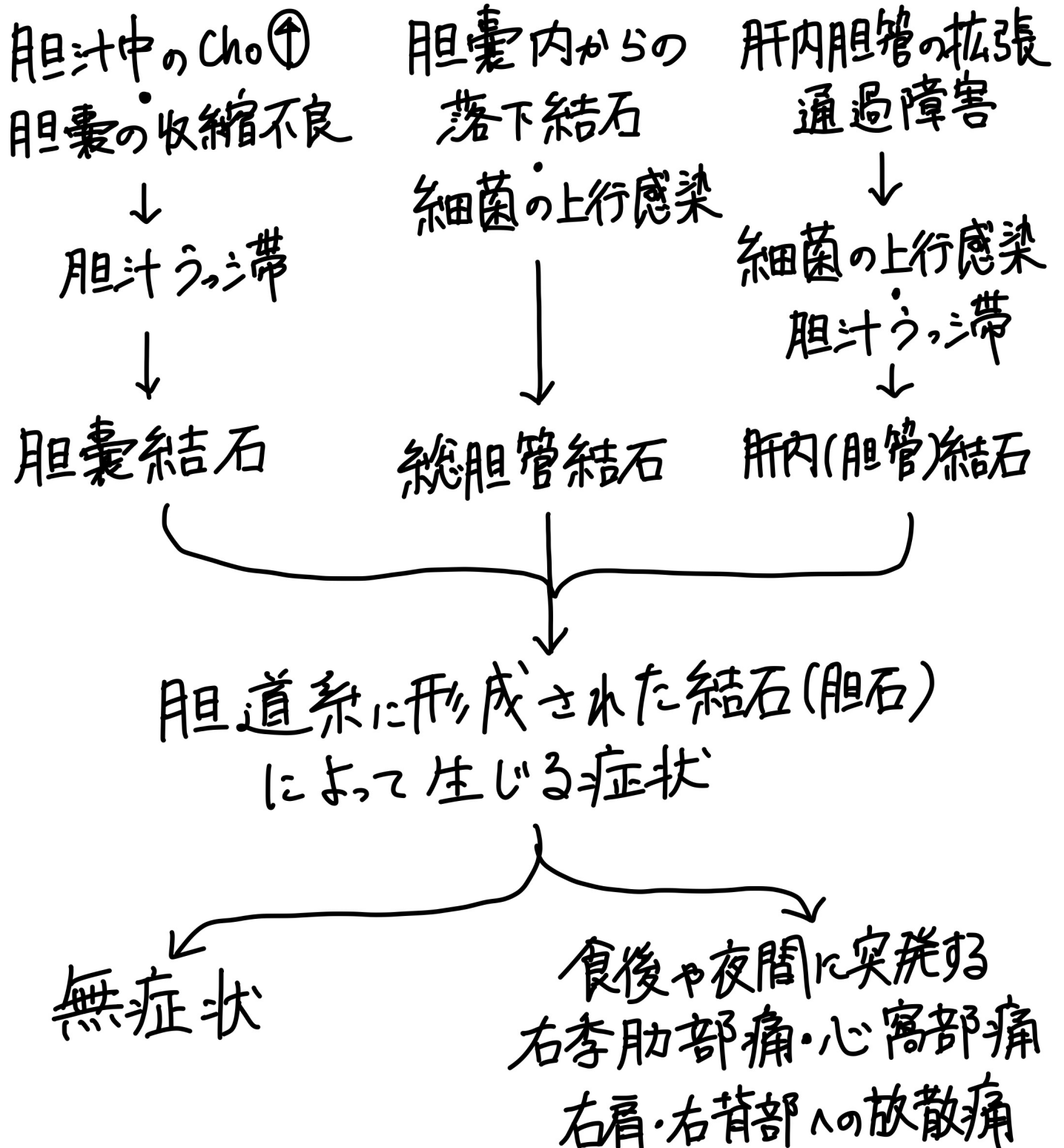
Mirizzi症候群

急性胆嚢炎

急性胆管炎

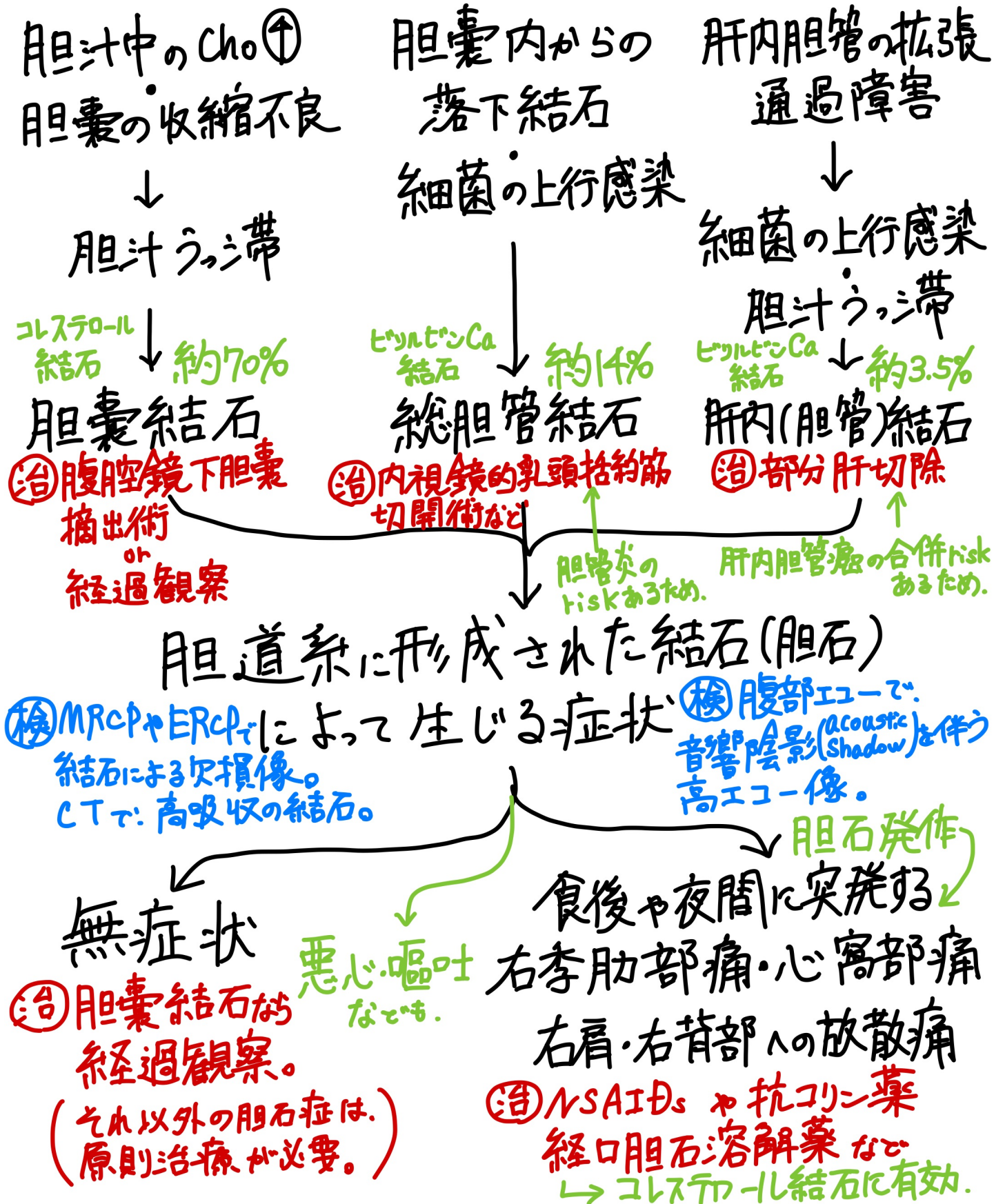


胆石症



胆石症

中高年以上に好発する。
胃切除→迷走神経切断もrisk.



Mirizzi症候群

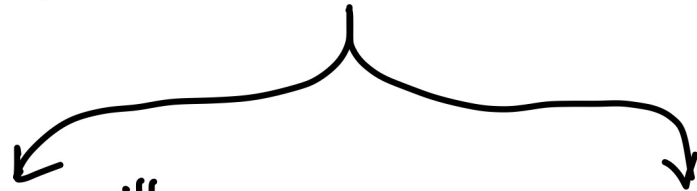
胆嚢管。胆嚢頸部に
結石が嵌頓



結石による圧迫や炎症の波及



総胆管の狭窄や閉塞



胆汁うっ滞
閉塞性黄疸

胆内胆管の拡張



肝機能異常

Mirizzi症候群

胆嚢管。胆嚢頸部に
結石が嵌頓



結石による圧迫や炎症の波及



④胆道造影

総胆管の狭窄や閉塞

⑤総胆管ドレナージ



胆汁うっ滞

閉塞性黄疸

胆内胆管の拡張

↓ ⑥外科的治療

肝機能異常

急性胆嚢炎

胆石が胆嚢頸部に嵌頓



胆嚢管が閉塞



二次的に細菌感染



胆嚢に生じた急性炎症

食後に起る
右季肋部痛
発熱・悪心嘔吐

圧痛・筋性防御
Murphy徴候

急性胆嚢炎

胆石が胆嚢頸部に嵌頓
90~95%の原因



胆嚢管が閉塞



④ WBC↑, CRP↑

Bil↑, ALP↑, γ-GTP↑

原因菌は、大腸菌やクレブシエラ
嫌気性菌など。

④ エコーで胆嚢腫大

壁肥厚, 結石, 胆泥 (debris) ↓

④ 血培養や胆汁培養

胆嚢に生じた急性炎症

④ CTで胆嚢腫大

壁肥厚, 周囲の炎症など

④ 絶食・輸液 (初期治療)
抗菌薬 (静注), 鎮痛薬

胆石発作

食後に起こる

右季肋部痛

発熱・悪心嘔吐

穿孔・急性腹膜炎など

圧痛・筋性防御

腹腔鏡下で
望ましい。

Murphy 徴候

④ 胆嚢摘出術 (原則)

早期手術不能例や全身状態不良の場合は。

④ 胆嚢ドレナージ (経皮経肝胆嚢
ドレナージ (PTGBD))

急性胆管炎

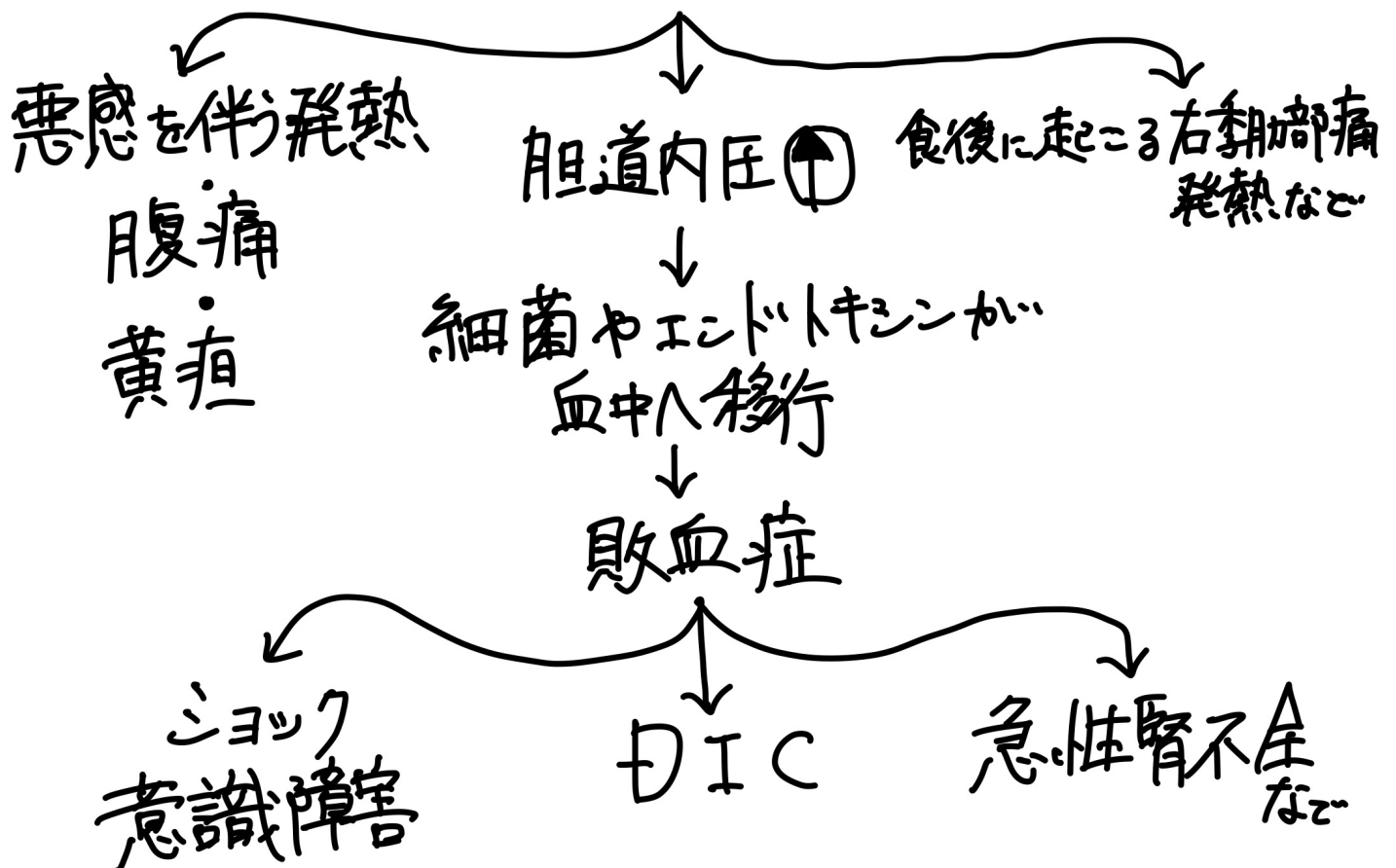
総胆管結石や悪性腫瘍による
総胆管閉塞



胆汁うっ滞



胆道感染により、胆管内に生じた
急性の炎症疾患



急性胆管炎

総胆管結石や悪性腫瘍による

症状落ちたら、総胆管閉塞 内視鏡的ドレーン1st
(治) 内視鏡的結石除去術 1st (治) 胆道ドレーン (原則)

(検) エコーやCTで
{ 拡張した胆管
総胆管結石など
胆汁うっ滞 (検) WBC↑, CRP↑
BiL↑, ALP↑, γ-GTP↑

まずはエコー! 胆道感染により、胆管内に生じた (初期治療)

急性の炎症疾患 (治) 絶食・輸液
抗菌薬(静注), 鎮痛薬

悪感を伴う発熱
腹痛
黄疸

Charcotの三徴

+ Reynoldsの五徴

ショック
意識障害

胆道内圧↑

細菌やエンドトキシンが
血中へ移行

敗血症

DIC

(検) 血小板↓, PT, APTT↑
Dダイマー↑ など

食後に起こる右季肋部痛
発熱など

初期は急性
胆嚢炎と類似

ココまで来ると
急性化膿性胆管炎
(最重症)

急性腎不全
など

肝・胆・膵

胆道疾患③

胆嚢捻転症

原発性硬化性胆管炎

先天性胆道拡張症

胆道閉鎖症

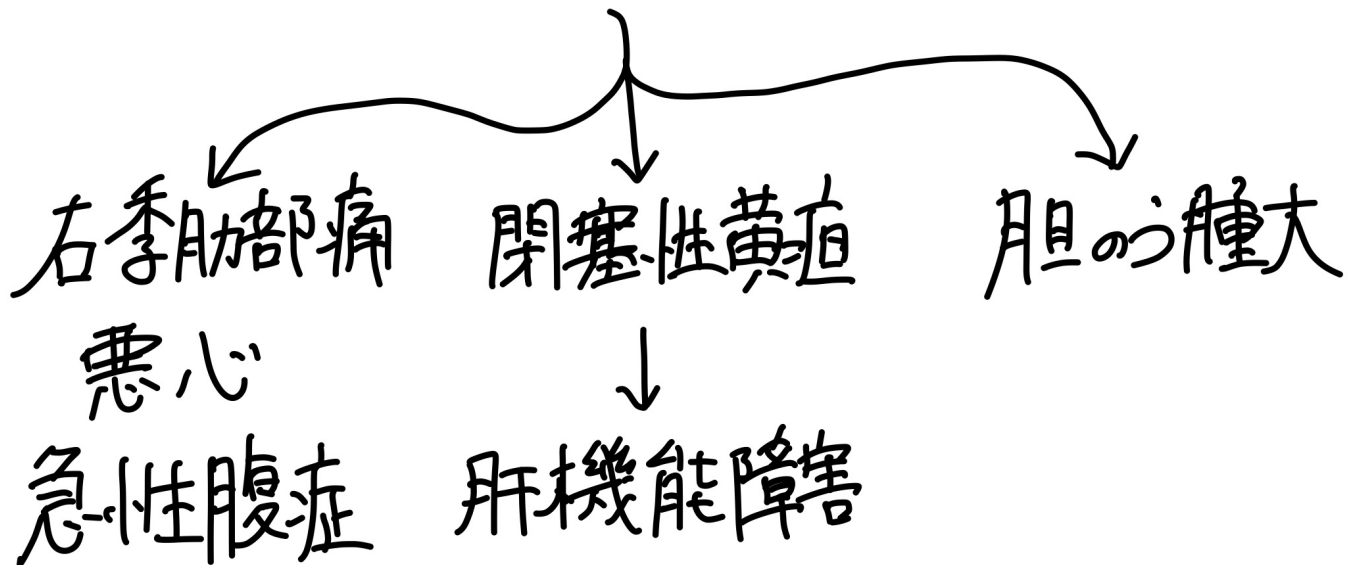


胆嚢捻転症

胆嚢頸部の軸捻転により
血行障害



胆嚢壁が壊死に陥る病態



胆嚢捻転症

高齢女性, やせ型, 内臓下垂などが risk

↓ 無石性が多い.

胆嚢頸部の軸捻転により

血行障害

(検) 造影CTで動脈相と後期相における濃染(-)

(検) エコーで胆嚢腫大
壁肥厚あり.

胆嚢壁が壊死に陥る病態

(治) 緊急の胆嚢摘出術

右季肋部痛
悪心

急性腹症

閉塞性黄疸

肝機能障害

胆のう腫大

急激に症状が悪化するのて.
見逃さないように!

原発性硬化性胆管炎 (PSC)

肝外胆管と太めの肝内胆管の障害



肝内外胆管の線維性狭窄を
生じる 進行性の慢性炎症性疾患



胆汁うっ滞

無症状

消長する黄疸
皮膚掻痒感

右季肋部痛
全身倦怠感

胆汁性肝硬変

原発性硬化性胆管炎

20代と60代に多く、潰瘍性大腸炎に合併しやすい。

肝外胆管と太めの肝内胆管の障害

(検) ERCPやMRCPにて。

肝内・肝外胆管に多発性の狭窄、

壁不整など。

(数珠状所見)

原因不明で、自己免疫が関与。

IgG4関連もある。

肝内外胆管の線維性狭窄を

生じる 進行性の慢性炎症性疾患

(検) 肝生検で、胆管壁の

同心円状の線維化

(onion-skin lesion)

↓

(治) ウルソデオキシコール酸

(検) ALP↑, γ-GT↑, Bil↑

胆汁うっ滞

(治) 胆道ドレージ

無症状

消長する黄疸
皮膚掻痒感

右季肋部痛
全身倦怠感

(治) 抗ヒスタミン薬

進行例

胆管癌のrisk

胆汁性肝硬変

※ステロイドは無効で、

根治には、

肝移植しかない。

(治) 肝移植(根治)

門脈圧↑症状

肝不全徴候

先天性胆道拡張症

先天的な要因



膵・胆管合流異常も合併



膵液胆道逆流



胆道が拡張する疾患



無症状

上腹部痛

黄疸

腹部腫瘤

胆管炎

胆石症



胆道癌

先天性胆道拡張症

若年者に多い

先天的な要因

⑤検査 MRCP・ERCPで、総胆管の拡張
主膵管と総胆管が十二指腸壁外で
合流する所見。

膵・胆管合流異常も合併

↓
確定診断

⑤検査 胆道系酵素↑
膵酵素↑

膵液胆道逆流

⑤検査 CTやエコーで
拡張した総胆管

総胆管嚢腫
とも呼ばれる。

胆道が拡張する疾患

無症状

上腹部痛

黄疸

腹部腫瘤

胆管炎

胆石症

↓ 持続的な炎症
胆道癌

発生率が高い

胆道癌の予防として

⑤治療 肝外胆管切除 + 胆嚢摘出 + 胆道再建

胆道閉鎖症

原因不明



先天的に肝外胆管が
閉塞する疾患



胆汁うっ滞

脂溶性ビタミン
吸収障害



出血傾向
骨代謝異常
発育不良

肝脾腫
肝機能⬇



貧血
低蛋白症

閉塞性黄疸



灰白色便

胆道閉鎖症

生後60日以内に！原因不明

①肝門部腸吻合術 ↓ 新生児にみられる。
(葛西手術) 先天的に肝外胆管が

改善しない場合は。

②肝移植

閉塞する疾患

③直接Bil ↑
ALP ↑, γ-GTP ↑

胆汁うっ滞

④エコーやCTにて。
胆道が造影されない。
胆のうの萎縮像や描出
できない。

脂溶性ビタミン
吸収障害

↓
出血傾向
骨代謝異常
発育不良

肝脾腫
肝機能 ↓

↓
貧血
低蛋白症



胆汁性肝硬変で死に至る。

閉塞性黄疸

↓
灰白色便

肝・胆・膵

胆道疾患④

胆管癌

乳頭部癌

胆嚢癌

胆嚢ポリープ



胆管癌

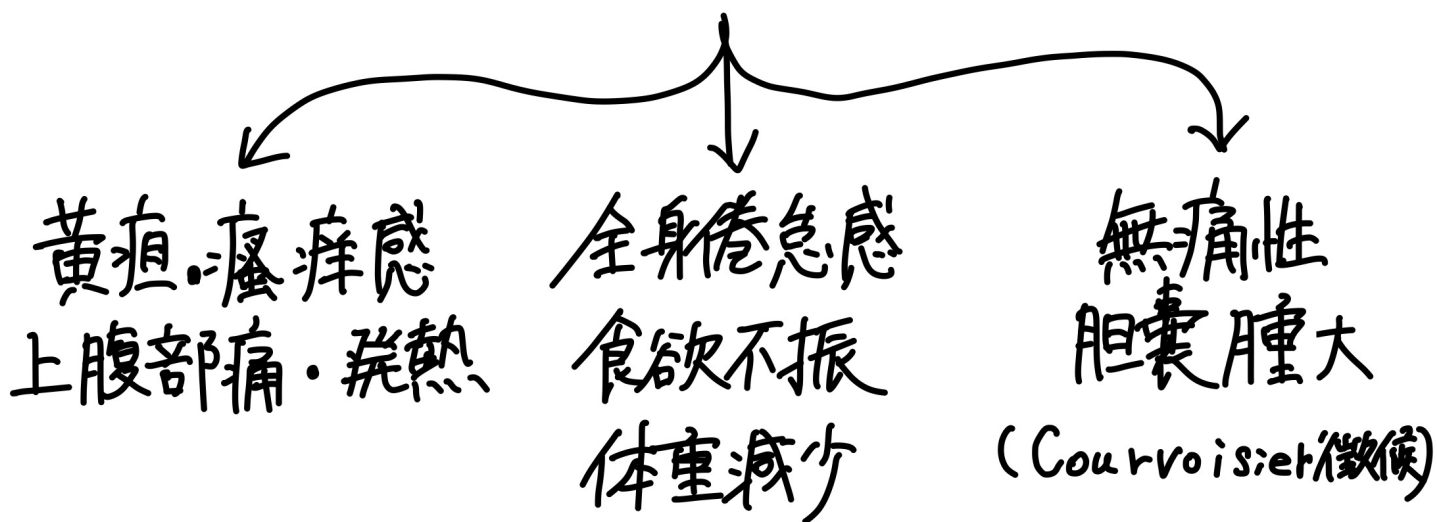
胆道系に発生する悪性腫瘍



肝外胆管(肝門部や遠位胆管)に
生じるもの



胆汁う、滞



胆管癌

高齢男性に多い

PSC や先天性胆道拡張症, 肝内結石
などがrisk

① CT・MRCPなどで深達度をcheck ↓

胆道系に発生する悪性腫瘍

① ALP↑, γ-GTP↑, 直BIL↑
CA19-9↑, CEA↑

肝外胆管(肝門部や遠位胆管)に

① エコーで

肝内・肝外胆管の拡張

生じるもの ② 外科的切除(根治)



胆汁う、滞



黄疸・掻痒感
上腹部痛・発熱

↓
閉塞性黄疸

③ 胆道ドレナージ

全身倦怠感
食欲不振
体重減少



発見時には進行癌が多い

③ 化学療法

無痛性
胆嚢腫大

(Courvoisier徴候)
※肝門部胆管癌では
生じない!

乳頭部癌

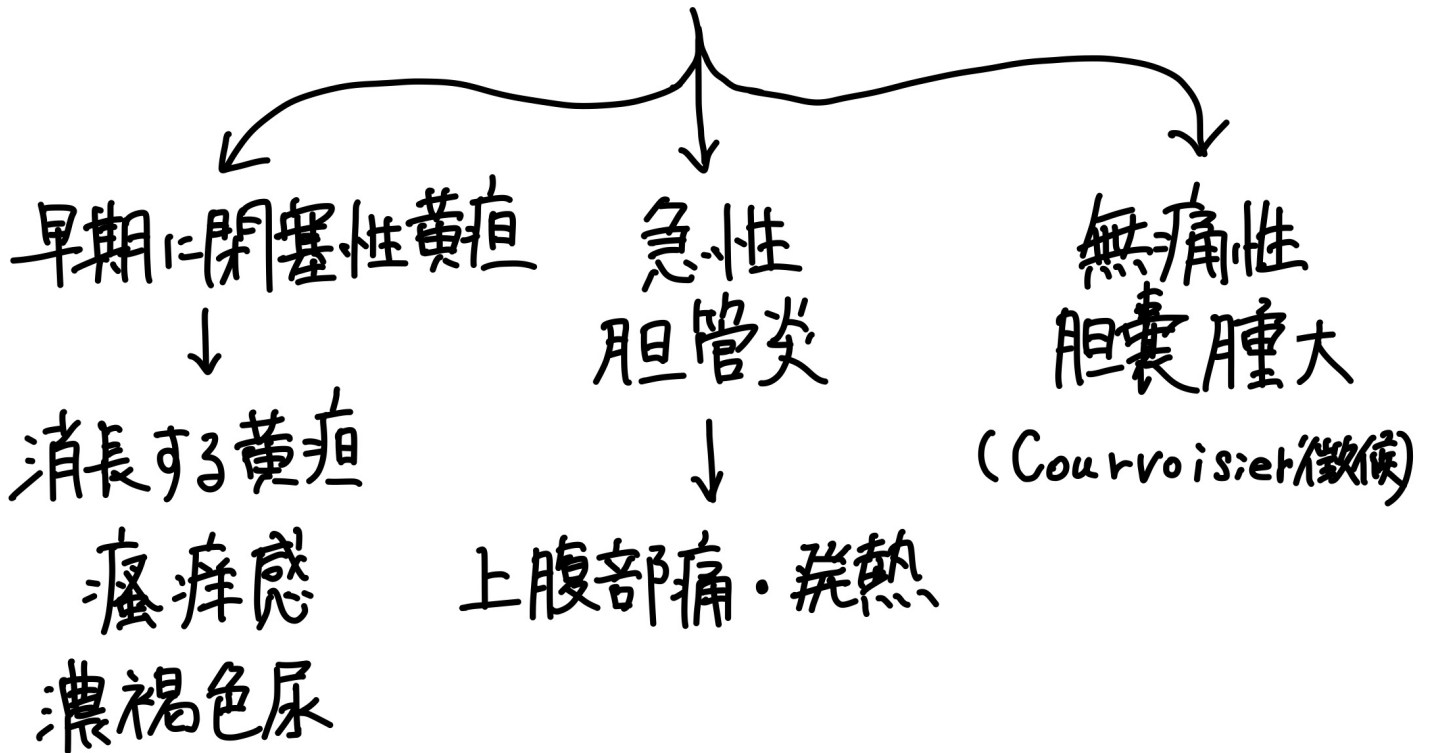
胆道系に発生する悪性腫瘍



Vater乳頭(十二指腸乳頭)
生じるもの



胆汁う、滞



乳頭部癌

危険因子は不明

胆道系に発生する悪性腫瘍

④十二指腸造影で:
辺縁の不整,陰影欠損,腫瘤像

④ERCPで:総胆管末梢部の
陰影欠損像と,膵管と胆管の拡張

Vater乳頭(十二指腸乳頭)

④膵頭十二指腸切除術(根治術)生じるもの

④内視鏡で: Vater乳頭に
表面不整な腫瘤

早期発見されるため,

手術成績がよい。胆汁う、滞

早期に閉塞性黄疸

急性

無痛性

④胆道ドレーン

胆管炎

胆嚢腫大

消長する黄疸(動揺性の黄疸)

(Courvoisier徴候)

掻痒感

上腹部痛・発熱

濃褐色尿

切除不能例には

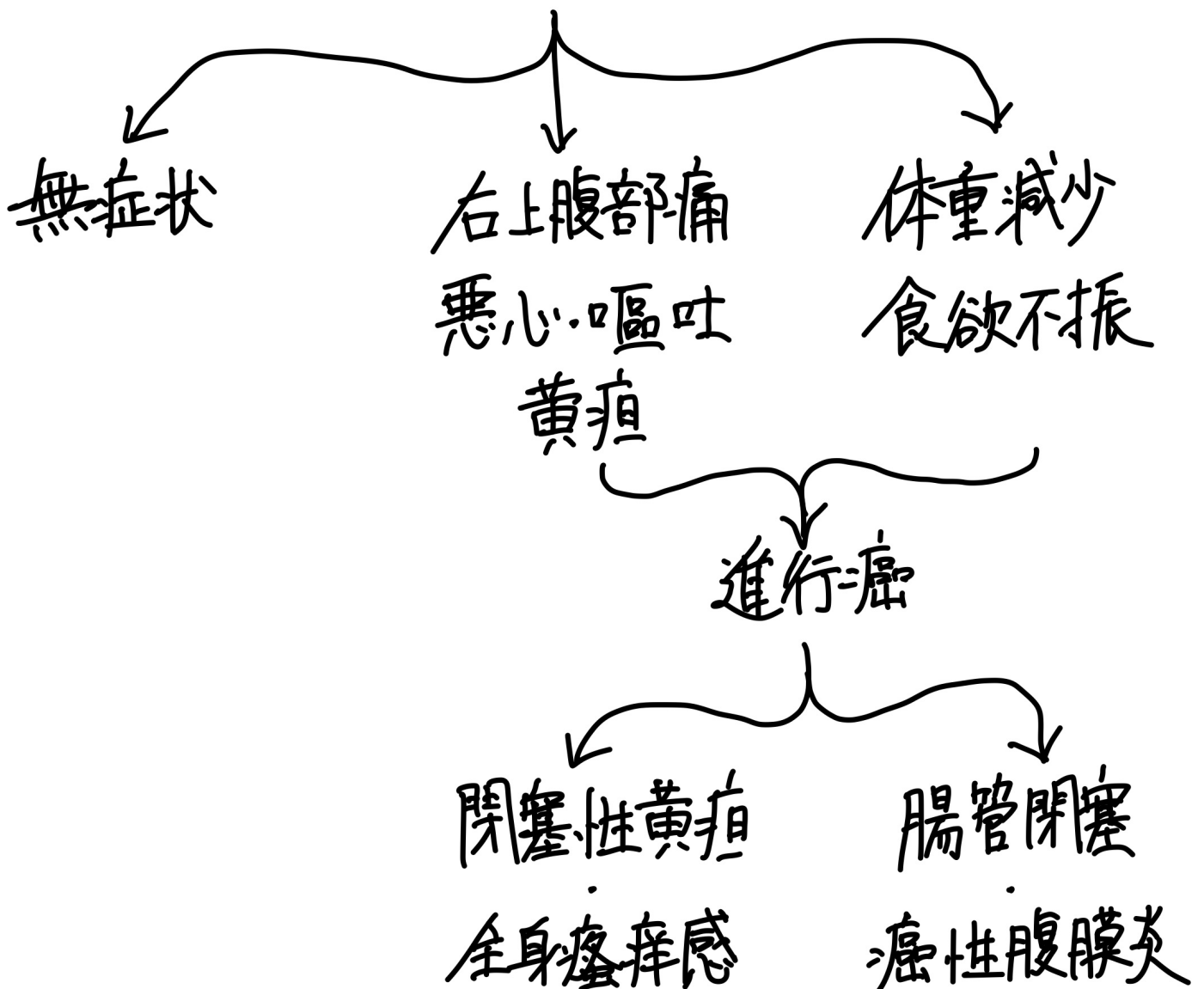
④化学療法

胆嚢癌

胆道系に発生する悪性腫瘍



胆嚢 および胆嚢管に
生じるもの



胆嚢癌

胆石症が5%は1%<5...

膵胆管合流異常や胆嚢粘膜の異形成がrisk

胆道系に発生する悪性腫瘍 高齢女性に好発

④超音波内視鏡やCT
MRCP, ERCPで
進展度評価

↓ ④ALP↑, γ-GTP↑, cA19-9↑
CEA↑

胆嚢 および胆嚢管に 1cm超えると、癌の確率↑

④外科的切除 (唯一の根治療法) 注じるもの ④エコーで胆嚢隆起性病変
辺縁不整, 壁肥厚あり

無症状
早期は症状无い。

右上腹部痛
悪心・嘔吐
黄疸

体重減少
食欲不振

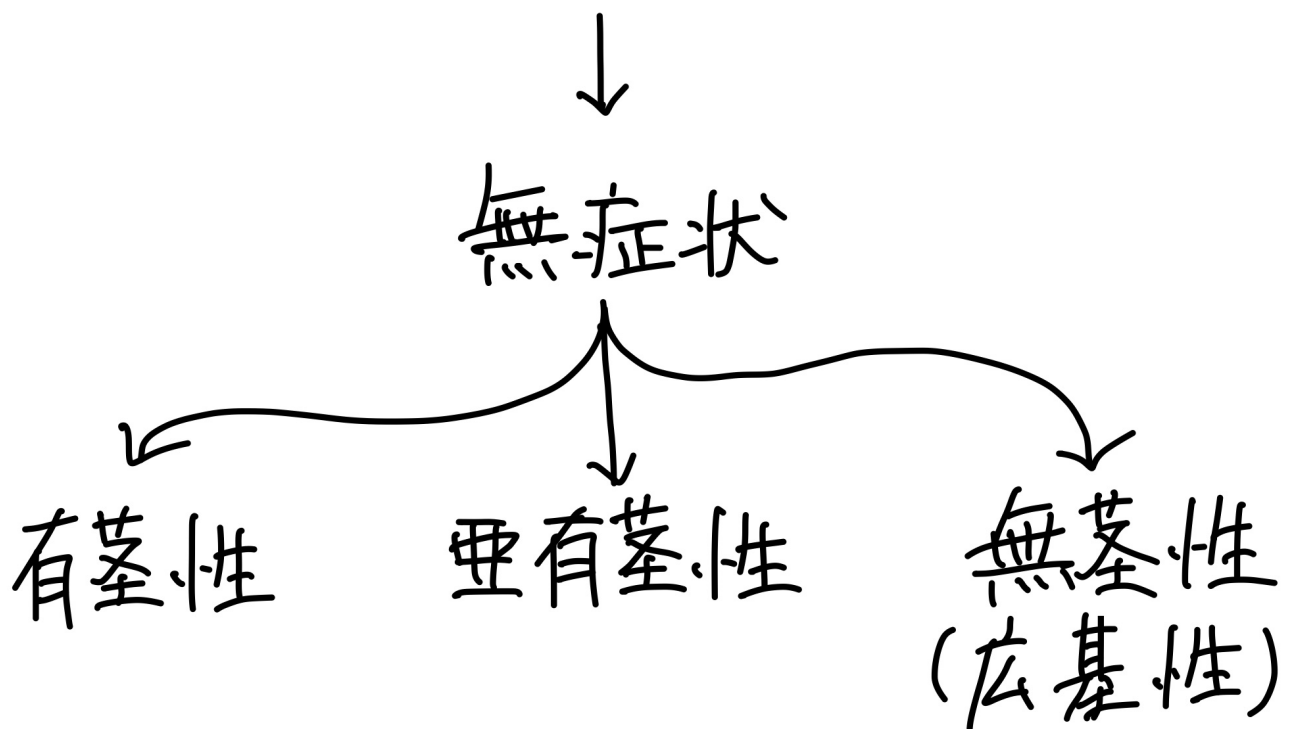
発見時には、
進行癌が多く
予後不良。
切除不能例に対して ④化学療法

閉塞性黄疸
④胆道ドレナージ
全身瘙痒感
(胆管浸潤例)

腸管閉塞
癌性腹膜炎
(転移例)

胆嚢ポリープ

胆嚢粘膜表面に認められる
限局性の隆起性病変



胆嚢ポリープ

胆嚢粘膜表面に認められる
限局性の隆起性病変

④エコーで、高輝度を
呈する複数のポリープ ↓

無症状

ほとんどが有茎性

有茎性

良性のコレステロール
ポリープ

④経過観察

亜有茎性

無茎性

(広基性)

10mmを超える場合
なども。

癌である可能性 ↑

④腹腔鏡下胆嚢摘出術